

令和7年度第2回会議での委員からのご意見について

No.	ご意見	反映内容	反映箇所	
			施策体系	ページ
1	○ 基本方針において「誰一人取り残さず」や「切れ目なく」とあるが、特にひとり親支援の現場では、向こうからつながりが切れてしまうことが多く、「つながる」ということが非常に重要だと感じている。「つながる」という表現を取り入れてほしい。	○ 地域のつながりや支援者とのつながりなど、「つながる」ことの重要性を認識した上で、各施策において随所に表現を取り入れています。 Ⅱ-1「こどもの貧困の解消」 Ⅱ-5「つながりをもちにくいこども・若者への支援」 Ⅲ-2「地域における子育て支援」 Ⅲ-4「ひとり親家庭への支援」 など	Ⅱ 困難に直面するこどもへのサポート 1 こどもの貧困の解消 5 悩みや不安を抱えるこども・若者等を支える取組み Ⅲ 子育て当事者を社会みんなでサポート 2 地域における子育て支援 4 ひとり親家庭への支援 など	81～82 91～92 96～97 100～101
2	○ 施策体系において「困難に直面するこども」とあるが、障害があることや学校に行かないことがすなわち「困難に直面する」なのか。「課題を抱える」など、柔らかな表現を取り入れたほうがよいのではないか。	○ こどもを取り巻く状況は、変化が激しく厳しい状況であることを踏まえ、「困難に直面する」という表現を採用いたします。 なお、各記述において、柔らかな表現を用いるよう留意しています。	-	-
3	○ 全体的にもう少し明るい表現で、こどもが楽しく成長するということがにじみ出るような表現ができないか。	○ 香川県こども計画は、基本理念においても、すべてのこどもたちの未来が明るく、それぞれの希望が実現できるよう応援するなど、未来が明るいことを信じて策定しています。こどもが楽しく成長できるような社会に向けて、引き続き取り組みたいと考えています。	-	-
4	○ 「病児保育」について、理解を深めるため、またその重要性を周知するためにも、「病児保育」の文言を記載してほしい。	○ 「病児保育」の取組みについて、こどもが安全にケアを受けながら安心して過ごせることの重要性を踏まえ、記載しています。	I こどものライフステージを切れ目なくサポート 2 幼児教育・保育の充実 (1) 地域の身近な子育て拠点を通じた支援の充実 Ⅲ 子育て当事者を社会みんなでサポート 2 地域における子育て支援	51～52 96～97
5	○ 「こども・若者が自分らしく意見を表明できる社会の実現」について、意見表明権においては、こどもたちから大人たちへ意見を表明するというのが重要だと思うが、「人権教育の推進」では、大人たちからこどもたちへの教育というニュアンスになっており、趣旨から離れるのではないか。	○ 「人権教育の推進」の取組みについて、教育の観点も踏まえ、「豊かな心の育成」において記載しています。	I こどものライフステージを切れ目なくサポート 3 こどもが安心して過ごし学ぶことのできる学校教育等の推進 (2) 豊かな心の育成	55
6	○ 性犯罪は深刻な課題である中、「犯罪被害や性犯罪・性暴力からこどもを守る環境整備」において、「オリブかがわ」などの相談支援の取組みが例示されており、事案が行った後の相談支援も重要であるが、そうならない環境整備も大事ではないか。	○ 「犯罪被害や性犯罪・性暴力からこどもを守る環境整備」において、環境整備の取組みについて、記載しています。	I こどものライフステージを切れ目なくサポート 12 こどもの安全を確保するための活動の推進 (1) 犯罪被害や性犯罪・性暴力からこどもを守る環境整備	76～78
7	○ 「こどもの貧困の解消」において、「行政、相談・支援機関及び地域がそれぞれの役割を担う」とあるが、「学校」もこどもの貧困を発見する最たる場所だと思うので、ネットワークに「学校」も含めてほしい。	○ 「関係機関の連携による民間団体の活動支援と支援体制の強化」において、「行政、学校、相談・支援機関及び地域」のように「学校」を記載しています。	Ⅱ 困難に直面するこどもへのサポート 1 こどもの貧困の解消 (5) 関係機関の連携による民間団体の活動支援と支援体制の強化	81～82

No.	ご意見	反映内容	反映箇所	
			施策体系	ページ
8	○「特別支援教育の推進」において、特別支援学校や特別支援学級のこども以外にも、発達障害や学習障害などこどももあり、通常クラスなどでも、支援を必要とするこどもたちに目を向けてほしい。	○「共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進」のほか、「発達障害児への支援」として、発達障害や学習障害などのこどもたちにも目を向けて取組みを記載しています。	Ⅱ 困難に直面することもへのサポート 2 障害のあるこども、医療的ケアが必要なこどもの支援 (2) 発達障害児への支援	83～84
9	○「教員の働き方改革や教職員の確保等」について、学校の様々なスタッフにも目を向けてほしい。 ○「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの連携の推進」とあるが、連携は意識して取り組んでいると思うが、配置の強化に課題があるのではないか。	○スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーについて、配置や連携の推進、アセスメントの重要性、研修等について記載しています。	Ⅱ 困難に直面することもへのサポート 4 いじめや不登校に対する取組み	89～90
10	○「つながりを持ちにくいこども・若者への支援」として、「不登校への取組み」を別建てしているが、不登校のこどもとそうじゃないこどもを分けて整理しているのか考えを教えてください。	○「困難に直面することも」について、こどものライフステージを通じて切れ目なく捕捉しています。その中で、「不登校に対する取組み」が強調されるよう項目として分けていますが、「悩みや不安を抱えるこども・若者等」の中には、不登校のこどももそうではないこどもも含め、支援していくこととして整理しています。	Ⅱ 困難に直面することもへのサポート 4 いじめや不登校に対する取組み 5 悩みや不安を抱えるこども・若者等を支える取組み	89～92
11	○「悩みや不安を抱えるこども・若者等を支える取組み」として、相談支援に至る前のこどもたちにも居場所が開かれていることが大事だと思う。	○居場所の重要性について、「こどもが安全・安心に過ごせる居場所づくり」において記載しているほか、「悩みや不安を抱えるこども・若者等を支える取組み」でも居場所づくりについて記載しています。	I こどものライフステージを切れ目なくサポート 4 こどもが安全・安心に過ごせる居場所づくり Ⅱ 困難に直面することもへのサポート 5 悩みや不安を抱えるこども・若者等を支える取組み	57～58 91～92
12	○保育所をはじめ、外国人のこどもが増加していることを踏まえた対応は課題だと思う。	○「外国にルーツのあるこども・若者等への支援」として、安心して暮らせるような相談窓口や日本語学習の取組みについて記載しています。	Ⅱ 困難に直面することもへのサポート 5 悩みや不安を抱えるこども・若者等を支える取組み (3) 外国にルーツのあるこども・若者等への支援	91～92
13	○「共働き・子育ての推進」において、見えない意識や空気感をどう変えていくのか、取組みは難しいかもしれないが、取組みを進めてほしい。	○地域社会全体で共働き・子育てを応援する社会をつくることの重要性を記載しています。	Ⅲ 子育て当事者を社会みんなでサポート 3 共働き・子育ての推進	98～99
14	○こどもとともに親が育っていくことも重要だと思うので、そういった観点も表現してほしい。	○「家庭教育支援の推進」において、こどもの育ちを支えるため、保護者も学校や地域と連携して家庭教育を進めていくことを記載しているほか、「はじめの100か月」でも保護者はこどもとともに育っていくという視点の重要性を記載しています。	Ⅲ 子育て当事者を社会みんなでサポート 2 地域における子育て支援 (2) 家庭教育支援の推進 I こどものライフステージを切れ目なくサポート	96～97 47